

南部アフリカの現在と未来、日本との関係に迫る

「南部アフリカ・フォーラム 2011」

Southern Africa Forum 2011

開催報告書

◎開催概要◎

- 《 名 称 》 南部アフリカ・フォーラム2011
- 《 日 時 》 2011年5月27日(金) 14:00～20:00 *開場13:00
- 《 会 場 》 東京ミッドタウン・ホール「ホールB」
(東京都港区赤坂9-7-2 ミッドタウンイーストB1F)
- 《 主 催 》 毎日新聞社
- 《 後 援 》 外務省、経済産業省、資源エネルギー庁、環境省、国際協力機構(JICA)、
石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)、
日本政策金融公庫 国際協力銀行(JBIC)、アフリカ協会、
アフリカ開発協会(AFRECO)、アフリカ日本協議会
- 《 協 力 》 アンゴラ共和国、ボツワナ共和国、コンゴ民主共和国、レソト王国、
マダガスカル共和国、マラウイ共和国、モザンビーク共和国、
ナミビア共和国、南アフリカ共和国、タンザニア連合共和国、
ザンビア共和国、ジンバブエ共和国
- 《 協 賛 》 双日(株)、三井物産(株)ほか
- 《 対 象 》 大使館関係者・毎日新聞一般読者ほか
- 《 参 加 者 》 350名
- 《 告知方法 》 関係者向け案内・毎日新聞紙上で一般公募
- 《 参 加 料 》 無料

- 《プログラム》 14:00 **開演～主催者挨拶** (10分)
岸井 成格(毎日新聞社主筆)
- 14:10 **来賓ご挨拶** (各15分、30分)
スチュアート・コンババツハ(ジンバブエ共和国駐日特命全権大使)
松下 忠洋(経済産業副大臣)
- 14:40 **講演①** (30分)
「経済成長の続く南部アフリカの将来」
アンジェロ・モンドレン(南部アフリカ開発共同体(SADC)政策局長)
- 15:10 **講演②** (30分)
「京都から南部アフリカへーCOP17への期待」
嘉田 由紀子(滋賀県知事)
- 15:40 休憩(舞台転換) (10分)
- 15:50 **プレゼンテーション及びパネルディスカッション** (120分)
「南部アフリカの現在と未来、日本との関係」
パネリスト:SADC加盟12カ国大使
嘉治 美佐子(外務省中東アフリカ局参事官)
森谷 賢(環境省関東地方環境事務所長、環境大臣補佐官)
中鉢 明子(女優)
モデレーター:坂東 賢治(毎日新聞社編集編成局次長、
前外信部長)
- [プレゼンテーション]
- 1)「TICADⅣ最終年への課題」
嘉治 美佐子(外務省中東アフリカ局参事官)
- 2)「貿易と投資について」
ガート・グロブラー(南アフリカ共和国駐日特命全権大使)
- 3)「環境について」
森谷 賢(環境省関東地方環境事務所長、環境大臣補佐官)
- 4)「観光について」
ベルミロ・マラテ(モザンビーク共和国駐日特命全権大使)
- 5)「日本から見たアフリカ」
中鉢 明子(女優)
- 17:50 **謝辞** (10分)
リチャド・ラモエツィ(レソト王国駐日特命全権大使)
- 18:10 **関係者懇親パーティー** (90分)
- 20:00 終了

◎募集告知◎

南部アフリカフォーラム

2億5000万人の人口と豊富な地下資源で将来の世界経済のけん引役として期待される南部アフリカ地域と日本との協力関係を話し合う第3回南部アフリカフォーラムを開催します。「南部アフリカの現在と未来、日本との関係」と題し、資源やインフラ、貿易、投資、観光に加え、南アフリカ・ダーバンで年末に行われるCOP17を前にして環境もテーマに入れて、南部アフリカ開発共同体(SADC、15カ国)加盟国の12カ国の代表と日本の代表者が討議します。抽選で350人を無料招待します。

△日時▽5月27日(金)午後2～6時△会場▽東京都港区の東京ミッドタウンホール△内容▽経済産業省来賓あいさつ、ジョアン・サミュエル・カホロ SADC事務局次長、嘉田由紀子・滋賀県知事による講演、五つのテーマに分かれて各国大使、草薺純男・外務省審議官、環境省代表、タレントの中鉢明子さんらによるパネルディスカッション△申し込み▽はがきかファクスで郵便番号、住所、氏名、電話番号、希望人数を記入し〒100-8051 毎日新聞社内毎日企画サービス「南部アフリカフォーラム」係、ファクス03・3212・0405へ。問い合わせは03・3212・2273(土日祝日除く午前10時～午後5時)

主催 毎日新聞社/後援 外務省、経済産業省、資源エネルギー庁、環境省(予定)、国際協力機構、石油天然ガス・金属鉱物資源機構、日本政策金融公庫・国際協力銀行、アフリカ協会、アフリカ開発協会、アフリカ日本協議会/協力 アンゴラ、ボツワナ、コンゴ民主共和国、レント、マダガスカル、馬拉ウイ、モザンビーク、ナミビア、南アフリカ、タンザニア、ザンビア、ジンバブエ/協賛 双日、三井物産ほか

募集社告(2011年4月26日付毎日新聞 東京本社版朝刊)

◎募集広告◎

—南部アフリカの現在と未来、日本との関係—

「南部アフリカ・フォーラム2011」

参加者募集

入場無料

日時：5月27日(金) 14時～18時(※13時開場) 会場：東京ミッドタウン・ホール「ホールB」(東京都港区赤坂9-7-2 ミッドタウンイーストB1F)

《フォーラム内容》

講演1 「経済成長の続く南部アフリカの将来」
ジョアン・サミュエル・カホロ (南部アフリカ開発共同体(SADC)事務局次長)

講演2 「京都から南部アフリカへ—COP17への期待」
嘉田由紀子 (滋賀県知事)

パネリスト 「南部アフリカの現在と未来、日本との関係」
パネリスト：南部アフリカ開発共同体加盟12カ国大使、
草賀純男(外務省アフリカ審議官)、環境省代表、中鉢明子(女優) <敬称略>

モデレーター：坂東賢治(毎日新聞社編成編集局次長・前外信部長)

※日英同時通訳あり ※上記プログラムは急遽変更となる場合があります。予めご了承ください。

定員：350名 (定員を超えた場合は抽選。参加者には聴講券をお送りします)

※ご応募いただいた個人情報、本事業運営目的にのみ使用します。

《お申し込み方法》

ハガキ、FAX、電話、インターネットにて受け付けます。参加ご希望の方は、①氏名(ふりがな) ②郵便番号③住所④電話番号⑤参加希望人数を明記のうえ、下記までお送りください。

●ハガキ=〒100-8051 (住所不要) 毎日新聞社内
毎日企画サービス「南部アフリカ・フォーラム」係

●FAX=03-3212-0405 (「南部アフリカ・フォーラム係」とお書き添えください)

●電話=03-3212-2273 (平日 10時～17時) ※お問い合わせ先

●インターネット=https://www.mainichi-ks.co.jp/form/safm1105/

主催：毎日新聞社 後援：外務省、経済産業省、資源エネルギー庁、環境省(予定)、国際協力機構、石油天然ガス・金属鉱物資源機構、日本政策金融公庫 国際協力銀行、アフリカ協会、アフリカ開発協会、アフリカ日本協議会 協力：アンゴラ、ボツワナ、コンゴ、レソト、マダガスカル、マラウイ、モザンビーク、ナミビア、南アフリカ、タンザニア、ザンビア、ジンバブエ 協賛：双日、三井物産ほか

半2段募集広告(2011年4月30日付毎日新聞 東京本社版朝刊ほか)

—南部アフリカの現在と未来、日本との関係—

「南部アフリカ・フォーラム2011」

南部アフリカ地域と日本との協力関係を話し合う第3回南部アフリカ・フォーラムを開催します。資源やインフラ、貿易、投資、観光に加え、年末に南アフリカ・ダーバンで行われるCOP17を前に「環境」もテーマに入れて、南部アフリカ開発共同体(SADC)加盟国の12カ国の代表と日本の代表者が討議します。

日時：5月27日(金) 14時～18時(※13時開場)

会場：東京ミッドタウン・ホール「ホールB」
(東京都港区赤坂9-7-2 ミッドタウンイーストB1F)

プログラム (敬称略)

14:00 主催者挨拶

14:10 来賓ご挨拶 スチュアート・コンババツハ (ジンバブエ共和国駐日特命全権大使)
経済産業省来賓

14:40 講演1 「経済成長の続く南部アフリカの将来」
ジョアン・サミュエル・カホロ
(南部アフリカ開発共同体(SADC)事務局次長)

15:10 講演2 「京都から南部アフリカへ—COP17への期待」
嘉田由紀子 (滋賀県知事)

15:30 休憩

15:40 パネルディスカッション
「南部アフリカの現在と未来、日本との関係」
パネリスト：南部アフリカ開発共同体加盟12カ国大使
草賀純男(外務省アフリカ審議官)
環境省代表
中鉢明子(女優)

モデレーター：坂東賢治(毎日新聞社編成編集局次長・前外信部長)

※日英同時通訳あり
※上記プログラムは急ぎ変更となる場合があります。予めご了承ください。

お申し込み方法

ハガキ、FAX、電話、インターネットにて受け付けます。
参加ご希望の方は、①氏名(ふりがな) ②郵便番号③住所④電話番号⑤参加希望人数を明記のうえ、下記までお送りください。

●ハガキ=〒100-8051 (住所不要)
毎日新聞社内 毎日企画サービス
「南部アフリカ・フォーラム」係

●FAX=03-3212-0405 (「南部アフリカ・フォーラム係」とお書き添えください)

●電話=03-3212-2273 (平日 10時～17時)

●URL=https://www.mainichi-ks.co.jp/form/safm1105/

定員：350名
(定員を超えた場合は抽選。参加者には聴講券をお送りします)

※ご応募いただいた個人情報は、本事業運営目的にのみ使用します。

お問い合わせ：毎日企画サービス「南部アフリカ・フォーラム」係
TEL：03-3212-2273 (平日 10時～17時)

主催：毎日新聞社
後援：外務省、経済産業省、資源エネルギー庁、環境省(予定)、国際協力機構(ICA)、石油天然ガス・金属鉱物資源機構(IOGMEC)、日本政策金融公庫 国際協力銀行(JIBC)、アフリカ協会、アフリカ開発協会(AFRECO)、アフリカ日本協議会
協力：アンゴラ共和国、ボツワナ共和国、コンゴ民主共和国、レソト王国、マダガスカル共和国、マラウイ共和国、モザンビーク共和国、ナミビア共和国、南アフリカ共和国、タンザニア連合共和国、ザンビア共和国、ジンバブエ共和国
※SADC(南部アフリカ開発共同体)加盟の中の12カ国 ※アルファベット順
協賛：双日、三井物産ほか

半5段募集広告(2011年5月2日付毎日新聞 東京本社版朝刊ほか)

◎インターネット応募フォーム◎

毎日新聞社

—南部アフリカの現在と未来、日本との関係—
「南部アフリカ・フォーラム2011」お申し込み

南部アフリカ地域と日本との協力関係を深め合う第3回南部アフリカ・フォーラムを開催します。資源やインフラ、貿易、投資、観光に加え、南洲に南部アフリカ・グループで行われるCOF17を前に「環境」もテーマに入れて、南部アフリカ開発共同財団(SADC)加盟国12カ国の代表と日本の代表者が討論します。

参加ご希望の方は下記の応募フォームに必要事項をご入力ください。

【開催概要】
 ◆日時:2011年5月27日(金)14時～18時(※13時開場)
 ◆会場:東京ミッドタウン・ホール「ホールB」(東京都港区赤坂9-7-2 ミッドタウン・プレイスト11F)
 ◆定員:150名(定員を越えた場合は抽選。参加者には抽選券をお送りします)

◆プログラム(敬称略)
 14:00 主催者挨拶
 14:10 来賓ご挨拶 マルセル・マティンバ(コンゴ民主共和国駐日特命全權大使)
 経済産業省参事
 14:40 講演1「経済成長の鍵に南部アフリカを」
 ジョアン・サリス・エル・カホ(南部アフリカ開発共同財団(SADC)事務局次長)
 15:10 講演2「京阪から南部アフリカへーCOF17への期待」
 高田由紀子(江東区知事)
 15:30 休憩
 15:40 パネルディスカッション「南部アフリカの現在と未来、日本との関係」
 パネリスト:南部アフリカ開発共同財団代表団次長
 貴賓局(外務省・アフリカ課長)
 産経代表
 中村明子(女優)
 モデレーター:池田賢治(毎日新聞社編集局次長・前外信部長)





マルセル・マティンバ氏

高田由紀子知事

中村明子さん

【主催】毎日新聞社
 【後援】外務省、経済産業省、資源エネルギー庁、環境省(予定)、国際協力機構(JICA)、石油天然ガス・金属鉱物資源機構(OGCI)、日本政策金融公庫、国際協力銀行(IBC)、アフリカ協会、アフリカ開発協会(AFRCO)、アフリカ日本協議会
 【協力】アンゴラ共和国、ボツワナ共和国、コンゴ民主共和国、レソト王国、マダガスカル共和国、マラウイ共和国、モザンビーク共和国、ナミビア共和国、南アフリカ共和国、タンザニア連合共和国、ザンビア共和国、ジンバブエ共和国
 ※SADC(南部アフリカ開発共同財団)加盟中の12カ国 ※アルファベット順
 【会場】次日、三井物産ほか

※日高同時通訳あり ※上記プログラムは変更となる場合があります。予めご了承ください。
 ※ご応募いただいた個人情報は、本事業の運営目的にのみ使用します。

【お問い合わせ】毎日企画サービス「南部アフリカ・フォーラム」係
 TEL:03-3212-2273(平日10時～17時)

以下の項目にご記入ください。 (※印は必須項目です)

氏名*	
ふりがな*	
住所*	〒 ※角数字(ハイフン不要)
電話番号*	
希望人数*	人
性別*	☐ 男性 ☐ 女性
年齢*	歳
職業(学校名)*	
メールアドレス*	 ※確認のためにもう一度メールアドレスを入力してください

毎日新聞社からのイベント・プレゼント企画メールの配信を希望されますか
 ご希望でない方は「希望しない」を選んでください

入力された個人情報は、「個人情報取扱い指針」に基づき、取り扱われることに同意するものとします。

個人情報取扱い指針



お申し込み完了

お申し込み完了

お申し込み完了

募集期間 (2011年4月28日～5月18日)

◎参加証◎

「南部アフリカの現在と未来、日本との関係」
「南部アフリカ・フォーラム2011」

ご招待状

【主催】毎日新聞社、【後援】外務省、経済産業省、資源エネルギー庁、環境省（予定）、国際協力機構（JICA）、石炭資源庁、全農協連合機構（JOGMEC）、日本政策金融公庫、国際協力銀行（JBIC）、アフリカ協会、アフリカ開発基金（AFRECO）、アフリカ日本協議会、【協賛】アンゴラ共和国、ボツワナ共和国、コンゴ民主共和国、レソト王国、マダガスカル共和国、マラウイ共和国、モザンビーク共和国、ナミビア共和国、南アフリカ共和国、タンザニア共和国、ザンビア共和国、ジンバブエ共和国 ※SAOC（南部アフリカ開発共同体）加盟中の12カ国 ※アルファベット順 【協賛】双日、三井物産ほか

この度はお申し込みいただき、誠にありがとうございます。当日は本招待状をご持参のうえご来場ください。本状は1枚につき1名様のみ有効です。

■日時：2011年5月27日（金）14時～18時（※13時開場）
■場所：東京ミッドタウン・ホール「ホールB」
（東京都港区赤坂9-7-2 ミッドタウン・イーストB1F）

プログラム（敬称略）

14：00 主催者挨拶
14：10 来賓ご挨拶
スチュアート・ハロルド・コンババツハ（ジンバブエ共和国駐日特命全權大使）
経済産業省来賓
講演1「経済成長の続く南部アフリカの将来」
ジョアン・サミュエル・カボロ（南部アフリカ開発共同体（SAOC）事務局次長）
講演2「京都から南部アフリカへCOP17への期待」
嘉田由紀子（逓信部次官）
15：30 休憩
15：40 ハネルディスカッション「南部アフリカの現在と未来、日本との関係」
パネリスト：南部アフリカ開発共同体加盟12カ国大使
章賀純男（外務省アフリカ課長）、環境省代表、中鉢明子（女史）
モデレーター：坂東賢治（毎日新聞社編集局長次長、前外信部長）
※日英同時通訳あり
※上記プログラムは急遽変更となる場合があります。予めご了承ください。

〒100-8051 毎日新聞社内毎日企画サービス「南部アフリカ・フォーラム」係
☎03-3212-2273（平日10時～17時）

裏面

料金別納郵便

東京ミッドタウン「ホールB」

広達MAP 3番出口
東京メトロ千代田線 乃木坂駅
外苑東通り
8番出口
7番出口
前都大江戸線 六本木駅
外苑東通り
六本木駅
東京メトロ比谷線 六本木駅
六本木ヒルズ
有明駅
有明線

○都営大江戸線「六本木」駅8番出口直結
○東京メトロ比谷線「六本木」駅下車、4a出口から地下通路で8番出口へ
○東京メトロ千代田線「乃木坂」駅3番出口より徒歩3分

表面

7

◎フォーラム開催風景◎

準備物・受付など



東京ミッドタウン外景



ホール B 入口



入口前立て看板



受付



受付配布物（同通レシーバー）



登壇者用胸花&ネームカード



募金箱・震災関連展示パネル



会場客席



登壇者席（舞台上）



出演者控室



開演前の控室



開演前の控室



開演前受付周り

協力団体ブース



アンゴラ共和国



ボツワナ共和国



コンゴ民主共和国



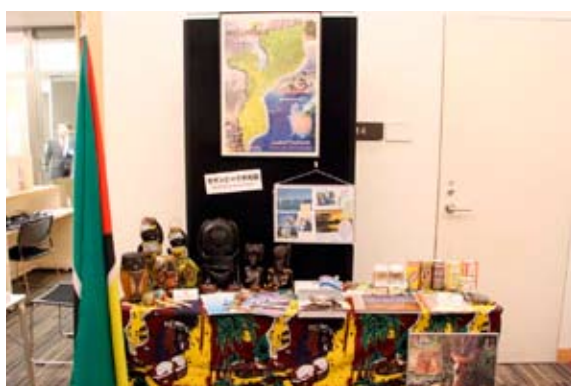
レソト王国



マダガスカル共和国



マラウイ共和国



モザンビーク共和国



ナミビア共和国



南アフリカ共和国



タンザニア連合共和国



ザンビア共和国



ジンバブエ共和国



キャセイパシフィック航空



双日



三井物産

開場～開演まで



受付



受付



展示ブースを熱心に見る来場者



展示ブースを熱心に見る来場者



開場中の場内

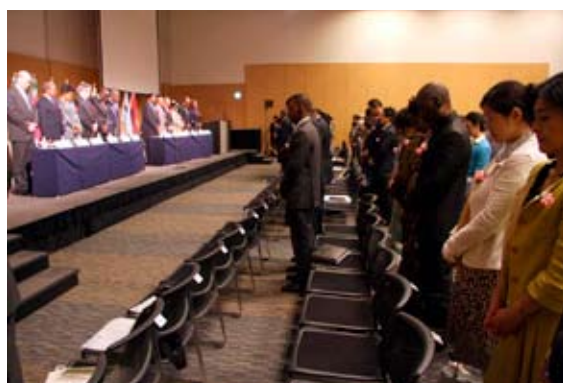


同時通訳ブース

講演／前半



主催者挨拶／岸井 成格 毎日新聞社主筆



開会に際し黙祷



来賓挨拶／スチュアート・コンババツハ ジンバブエ共和国特命全権大使



来賓挨拶／松下 忠洋 経済産業副大臣



講演①／アンジェロ・モンドレン 南部アフリカ開発共同体政策局長



モンドレン氏講演の様子



講演②／嘉田 由紀子 滋賀県知事



嘉田氏講演の様子

講演／後半



パネルディスカッション開始



会場風景

パネリスト



ミギエル・ボンバルダ・ダ・クルズ
アンゴラ共和国臨時代理大使



ブラエントゥレ・ケノシ
ボツワナ共和国特命全権大使



ムウエンダ・ラファエル
コンゴ民主共和国全権公使



リチャド・ラモエツィ
レソト王国特命全権大使



ジャン・フェノ
マダガスカル共和国公使



R・ングウェンヤ
マラウイ共和国次期駐日大使



ベルミロ・マラテ
モザンビーク共和国特命全権大使



ラッキー・ガウアナップ
ナミビア共和国臨時代理大使



ガート・グロブラー
南アフリカ共和国特命全権大使



ジリー・マレコ
タンザニア連合共和国公使



ビクシタ・レワニカ
ザンビア共和国特命全権大使



スチュアート・コンババハ
ジンバブエ共和国特命全権大使



嘉治 美佐子
外務省 中東アフリカ局参事官



森谷 賢
環境省 環境大臣補佐官、関東地方環境事務所長



中鉢 明子
女優



坂東 賢治
毎日新聞社 前外信部長、編集編成局次長



グロブラー氏講演の様子



森谷氏講演の様子



中鉢氏講演の様子

懇親パーティー



挨拶／常田 照雄 毎日新聞社常務取締役



来賓挨拶／矢野 哲朗 アフリカ開発協会会長理事



乾杯発声／ピクシタ・レワニカ ザンビア共和国特命全権大使



会場風景



会場風景



会場風景

（注）掲載記事は要約

毎日新聞

2011年（平成23年）6月27日（月）13版 企画特集 14

成長フロンティア

豊富な資源 熱い若年層パワー



12カ国大使らが参加

「南部アフリカ・フォーラム」は、南アフリカ共和国の首都、プレトリアで開催された。12カ国の大使らが参加し、地域の発展と持続可能な成長について議論した。南アフリカの大統領、ジェイク・マコベニは、このフォーラムが地域の未来を形作る重要な機会であると述べた。また、南アフリカの外相、マコベニ・マコベニも参加し、地域の経済的成長と持続可能な発展の重要性を強調した。

南部アフリカ・フォーラム 2011

南部アフリカ・フォーラムは、南アフリカ共和国の首都、プレトリアで開催された。12カ国の大使らが参加し、地域の発展と持続可能な成長について議論した。南アフリカの大統領、ジェイク・マコベニは、このフォーラムが地域の未来を形作る重要な機会であると述べた。また、南アフリカの外相、マコベニ・マコベニも参加し、地域の経済的成長と持続可能な発展の重要性を強調した。



現地の魅力は—— パネル討論



明会
経済発展
地域開発
持続可能な成長

パネル討論では、地域の魅力と持続可能な成長について議論した。南アフリカの経済発展と地域開発の重要性が強調された。また、持続可能な成長の重要性も議論された。南アフリカの経済発展と地域開発の重要性が強調された。また、持続可能な成長の重要性も議論された。

●講演
アンジェロ・モンドラーネ
SADC政策局長
SADCの目標は、地域の経済発展と持続可能な成長を促進することである。また、地域の経済的成長と持続可能な発展の重要性を強調した。



経済発展 貧困撲滅 地域統合で持続可能に
SADCの目標は、地域の経済発展と持続可能な成長を促進することである。また、地域の経済的成長と持続可能な発展の重要性を強調した。

へばたけに

へばたけに
南アフリカの経済発展と地域開発の重要性が強調された。また、持続可能な成長の重要性も議論された。

南アフリカの経済発展と地域開発の重要性が強調された。また、持続可能な成長の重要性も議論された。

南アフリカの経済発展と地域開発の重要性が強調された。また、持続可能な成長の重要性も議論された。

南アフリカの経済発展と地域開発の重要性が強調された。また、持続可能な成長の重要性も議論された。

飛び立ってはじめて見えてくるものがある。
そこにしかない価値、いたるところにある可能性。
世界を未来へ向かわせるのは、人のちから。

世界中で、挑戦と創造。



三井物産
www.mitsui.com